

# 委員会行政視察報告書

総務文教委員会

10月28日～29日

建設福祉委員会

11月13日～14日

広報特別委員会

10月 2日～ 3日



▲テラス石森(福島県田村市)

## ◆学校統廃合と廃校利活用 総務文教委員会

福島県田村市に「廃校利活用の現状と今後の課題」について行政視察を行いました。

常葉地区の小学校3校、中学校1校の立地条件を活かした併設型の小中一貫教育を例に説明をうけました。学校運営協議会

を設置し、保護者及び地域住民の学校運営の参画や連携強化を進めることにより、地域住民との信頼関係を深めていきました。廃校の施設は有効な活用方法が見つからず、遊休施設となっているものも多いです。そこで、事業を特定せずに民間事業者等の自由な発想による提案を募ることにしました。廃校利活用の基本的な考え方として、周辺住民から理解が得られ、雇用や地場産業の創出、コミュニティの醸成など、地域にメリットがある事業を条件としました。

## ◆防災機能と子育て支援のある道の駅 建設福祉委員会

道の駅「パレットピアおおの」(岐阜県揖斐郡大野町)の特徴は、本来の道の駅の機能である物品販売と観光資源による情報発信に加えて、子育て支援施設「子育てハウスパステル」及び防災機能を組み合わせたところにあります。町総人口の4.9倍もの利用者があり、その内の町外利用者が約90%もあります。交通の便を生かした計画が如実に効果を発揮していると感じられました。

活用により、成功を収めています。有効求人倍率も1.6倍を超え地域トップクラスの成果を上げています。

## ◆企業誘致で雇用拡大(駒ヶ根市)

先行投資で成約率をアップさせ、中規模以上の企業を誘致し、製造業を主体として雇用の吸収力を高めています。「駒ヶ根雇用対策協議会」を設立し、地元資源の有効



▲長野県駒ヶ根市